

# 令和6年度 学校評価 児童・保護者アンケート結果

昨年末、学校評価についてご協力いただき、ありがとうございました。各項目についての保護者と子どもたちそれぞれの結果について、昨年度と比較しました。この結果について、次回のiCS委員会（2月7日実施）においても、ご意見をいただき、次年度の教育計画に生かしてまいります。

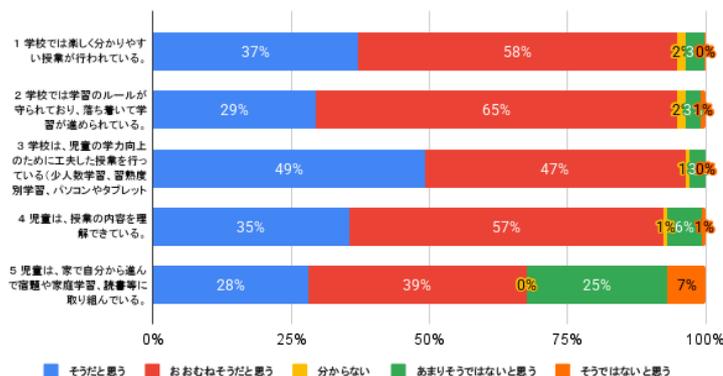
## 1. 学習について

令和6年度

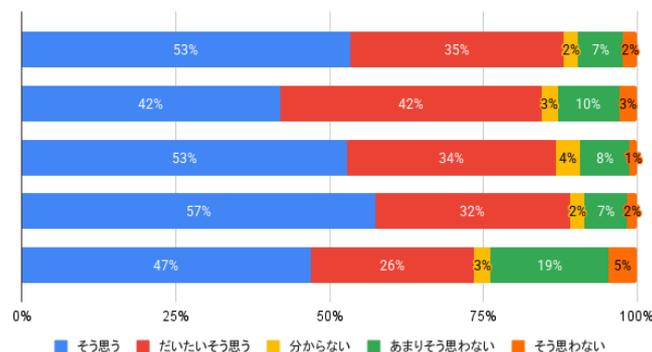
保護者

児童

令和6年度 保護者【学習について】



令和6年度 児童【学習について】

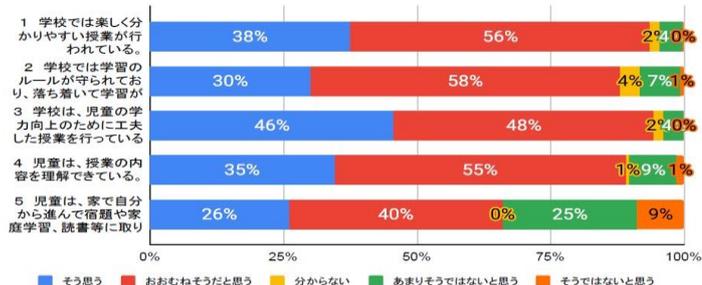


令和5年度

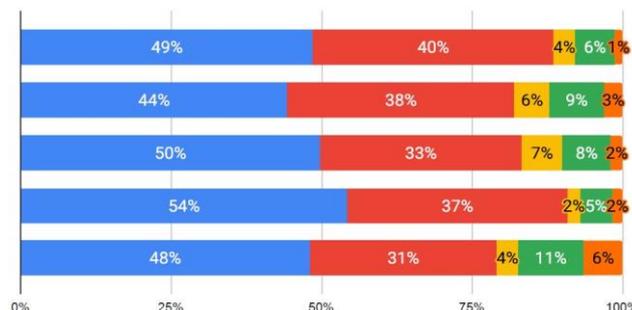
保護者

児童

令和5年度 保護者【学習について】



令和5年度 児童【学習について】



## 【結果】

- 「授業の内容が分かりやすい」や「内容の理解をできている」の項目は、肯定的な回答が保護者・児童ともに約90%であった。楽しく、工夫された授業が行われていると感じる児童は少しずつ増えている。
- 「家庭で自ら進んで宿題や家庭学習、読書に取り組んでいる」の項目について、肯定的に回答している児童は73%と昨年から6%減少した。その分、すすんで宿題や家庭学習に取り組む必要性を感じていない児童が8%増加している。

## 【考察】

- 今年度、本校が東京都教育委員会から指定を受けて研究をすすめてきた「デジタルを活用したこれからの学び」の取組が功をなしてきた様子が見える。一人一台端末を活用した学習を自らの計画のもと、すすめていく学習形態が定着してきたといえる。ただし、デジタルを活用する反面、アナログでノートや模造紙、新聞にまとめるとなると意欲が低下する児童も見られる。そのため、手書きの良さを感じるよう、「ノート賞」を継続して、児童の意欲を高めていく。
- 自ら家庭学習に取り組むことはなぜ必要なのか、改めて問うていくことが大切である。児童にとって家庭学習に取り組む必要感をもつことや、この取組をすることで、自分にとってどんな変化があるか、イメージをもって取り組ませたい。そのために、総合的な学習の時間の「調べ学習」や探究活動を充実していく。

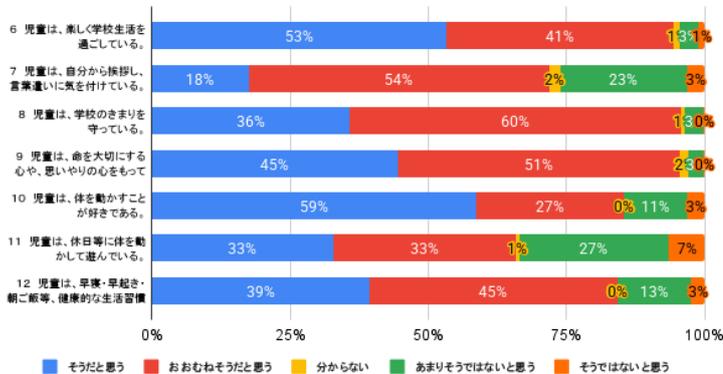
## 2. 生活について

令和6年度

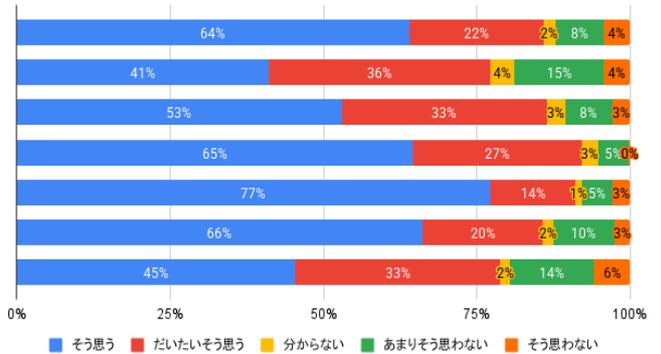
保護者

児童

令和6年度 保護者【生活について】



令和6年度 児童【生活について】

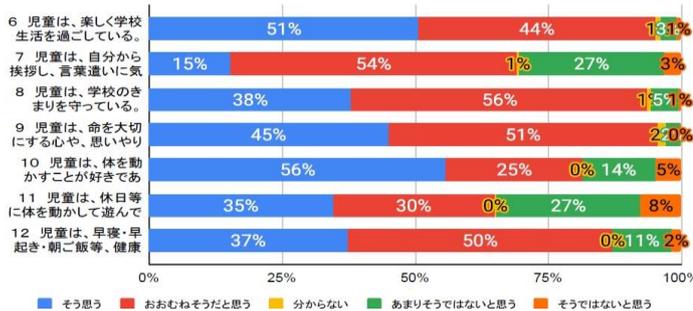


令和5年度

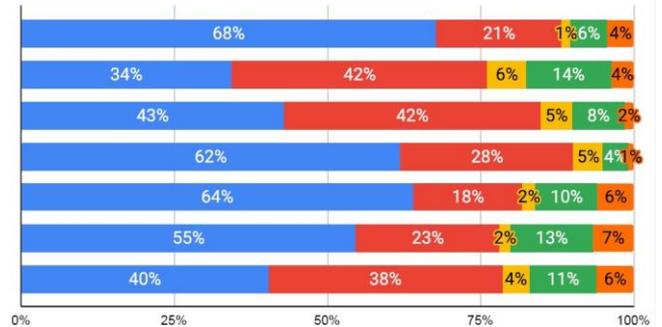
保護者

児童

令和5年度 保護者【生活について】



令和5年度 児童【生活について】



### 【結果】

- 児童のアンケートでは、ほとんどの項目において、前年度よりも「そう思う」で答えている児童が増加しており、生活に関する気持ちや習慣等が向上してきている様子がうかがえる。
- 「学校生活を楽しい」と肯定的にとらえている保護者・児童は多く、約90%である。
- 「体を動かして遊んでいる」では児童・保護者ともに80%を超えている。休み時間には校庭へ出て体を動かしている児童が多い。
- 「自らあいさつしたり言葉遣いに気を付けたりする」については、他の項目と比べると課題がある。これは前年度でも同様の結果になっていた。来年度以降も、家庭と協力しながら重点的に指導する。

### 【考察】

- 志村第二小では7年前から年間を通して『あいさつ運動』を行っている。今年度は「あいさつのレベル7」として、あいさつのポイントを示し、自分自身のあいさつのレベルを、月に1度、振り返るようにしたことで、あいさつについて考える機会が増えた。しかしまだまだ全校的に「いつでも、どこでも、その場に応じてあいさつすること」が達成できているとは言えない。今後は『あいさつ運動』を、他学年にも広げていく必要がある。

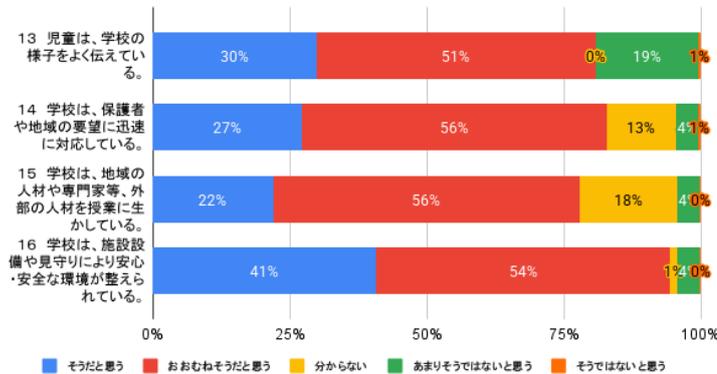
### 3. 学校について

令和6年度

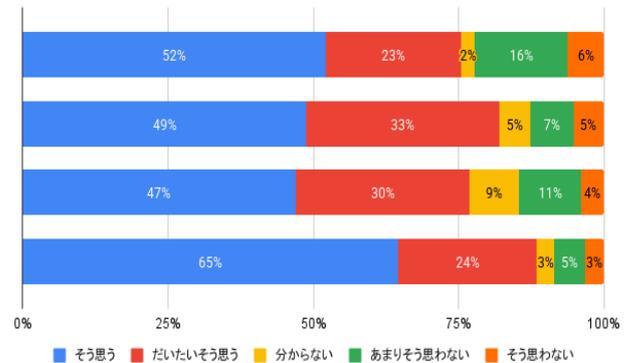
保護者

児童

令和6年度 保護者【学校について】



令和6年度 児童【学校について】

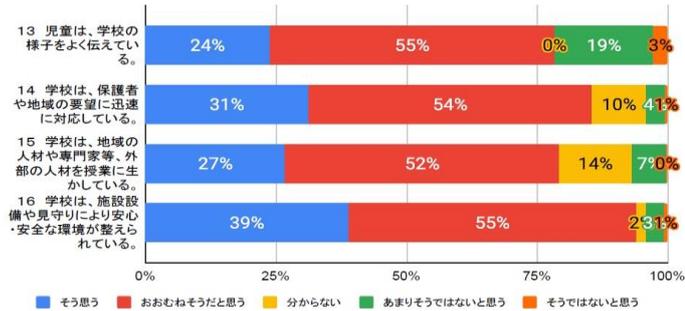


令和5年度

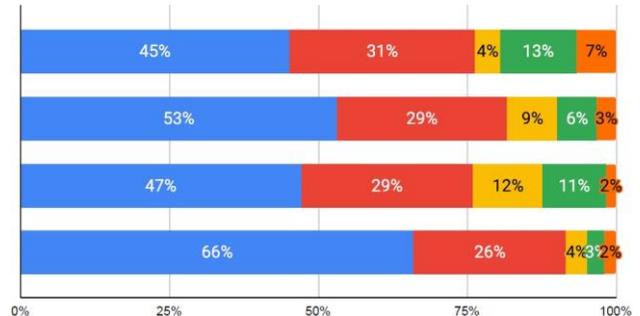
保護者

児童

令和5年度 保護者【学校について】



令和5年度 児童【学校について】



#### 【結果】

- 「児童は、学校の様子をよく伝えている」では、保護者・児童ともに「あまりそうではないと思う」の回答が高い傾向にある。
- 外部の人材の活用に関しては「分からない」と回答する保護者・児童ともに多い傾向が続いている。

#### 【考察】

- 「学校便り」や「学校ホームページでの普段の様子」等を中心に、これからも学校の様子を伝えていけるように学校が意識していく必要がある。学校ホームページの更新数は、1月末で230回以上している。
- 外部講師や専門家を招待した授業を、授業公開の日を中心に進めてきた。しかし、平日の学校の様子に分かるわけではないため、「分からない」と答えた割合が、依然として高かったのではないかと推測できる。来年度については、平日の学校公開の回数を増やすことで、土曜日以外にも保護者の方が参観できるようにする。また、普段からも「開かれた学校づくり」の一環として授業の参観についての希望があれば、担任に連絡してほしい。
- 自由記述で多かった内容に「16番の項目について、門が常に開いていることが気になる」という意見があった。こちらは、来年度の周年時の特別改修工事予算でリモート解錠鍵が付けられないか、区に要望している。